

「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」2021年も運行します 本日7月27日、「ザ・ロイヤルエクスプレス子ども乗車会」を開催

東急株式会社
北海道旅客鉄道株式会社

東急株式会社(以下、東急)と北海道旅客鉄道株式会社(以下、JR北海道)は、東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)、日本貨物鉄道株式会社(以下、JR貨物)と連携し、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的として、観光列車「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」(以下、本列車)を、昨年に引き続き、本年2021年も運行します。

第2期となる今夏の運行では、昨年同様定員を上回るお申込み状況で、計210名の応募枠(7回運行、各回30名定員)に対し計426名と、当選倍率が2倍を超えるご応募をいただきました。さらに、昨年の運行にご参加された方のうち、約30%の方から今年もお申込みをいただくなど、参加者のみなさまに大変ご満足いただける旅となっています。

今般、2021年8月13日(金)からの本列車の運行に先立ち、本日2021年7月27日(火)に北海道鉄道活性化協議会(会長:鈴木北海道知事)、東急、JR北海道の3者主催による「ザ・ロイヤルエクスプレス子ども乗車会」(以下、本乗車会)を開催しました。本乗車会は、2018年に発生した北海道胆振東部地震で被災した3町(安平町、厚真町、むかわ町)の小学生20名を招待し、本列車に体験乗車いただく企画です。

本乗車会の出発にあたり、JR札幌駅では、鈴木北海道知事、東急高橋社長、JR北海道島田社長、参加児童との記念撮影などが執り行われ、11時02分に鈴木北海道知事らに見送られ、各町から参加する児童たちは、JR札幌駅を出発し、JR南千歳駅まで乗車しました。

鈴木北海道知事のコメント

今日は、ザ・ロイヤルエクスプレスの子どもの乗車会ということで、安平町、厚真町、むかわ町のみんなに、このロイヤルエクスプレスに乗っていただいて、南千歳まで鉄道の旅を楽しんでいただきます。

北海道胆振東部地震、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況にある北海道を元気づけようと、このロイヤルエクスプレスという観光列車が走ることになって、今年で2回目です。北海道の素晴らしさや、北海道が素晴らしい状況に変わりはないんだということをみんなからも発信してくれたら嬉しいです。そういった大きな一歩になることを祈念しています。みんな楽しんでください。



▲鈴木北海道知事のご挨拶



▲出発時の様子

本列車は今後、8月13日～9月27日までの間に計7回、北海道の大地を周遊します。この旅でしか巡り合うことのできない、「北海道の大自然の恵み」「大地に根ざした人々とのふれあい」を通して世界に誇る北の大地で豊かな時間の過ごし方を提供し、オンリーワンの記憶に残る最高の「美しさ、煌めく旅。」へご案内します。

以上

【参考】2021年運行概要

1. THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～

(1) プラン日程(3泊4日、計7回)

- ① 2021年8月13日(金)～16日(月)
- ② 2021年8月20日(金)～23日(月)
- ③ 2021年8月27日(金)～30日(月)
- ④ 2021年9月 3日(金)～ 6日(月)
- ⑤ 2021年9月10日(金)～13日(月)
- ⑥ 2021年9月17日(金)～20日(月)
- ⑦ 2021年9月24日(金)～27日(月)

※⑦は4泊5日の限定プランあり(小樽市に前泊・3組さま限定)



(2) 旅行代金:お一人さまあたり73万円(税込) ※2名1室利用の基本料金の場合

(3) 募集人数:1回あたり最大15組30名(最少催行人員16名)

※昨年中止となった運行からの振替の方を含む

(4) 列車デザイン

列車の動力となる機関車(JR 北海道所有)は「北海道の力強く明るく元気な太陽の色・収穫の色」として「橙・オレンジ」を、列車内サービス用電力を供給する電源車(東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)所有)は「『THE ROYAL EXPRESS』のロイヤルブルーとオレンジを粹につなぐ色」として「白・ホワイト」をメインカラーとし、北海道の自然豊かな緑の中を走る「THE ROYAL EXPRESS」のロイヤルブルーに橙、白が融合し、旅を楽しく美しく演出します。本列車の装飾は、「THE ROYAL EXPRESS」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザインします。



(5) プロジェクトについて

JR北海道と東急は、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的として、2019年2月に観光列車の走行プロジェクトを両社およびJR東日本、JR貨物の4社連携で立ち上げました(※)。

2021年の運行も、昨年と同様、札幌を出発し、帯広・十勝、釧路・知床、オホーツク・北見、旭川・美瑛・富良野の4エリアを巡ります。周遊先には、雄大な自然など、各地域それぞれ異なる魅力を存分にお楽しみいただける宿泊先をご用意、車内でご提供する昼食には、地元4店舗の料理人が、北海道ならではの地元の食材を中心に、新たに本列車のために創作したメニューをご用意します。

伊豆の運行でもテーマ曲を演奏するヴァイオリニスト大迫 淳英氏が、本プランに合わせ、新たに制作したテーマ曲「THE ROYAL EXPRESS～北海道の旅～」を演奏し、伊豆運行に携わるクルーによる車内サービスとあわせ、旅のシーンを彩ります。

※JR東日本は電源車を東急に譲渡、JR貨物は北海道内で運行する車両を北海道まで回送運搬。